



各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセス！

### 政策提案

追跡質問▶▶ H26.6月定例会 H27.3月定例会・9月定例会でも質問

## 台帳整備・実態調査・計画作成をすべき



2033年、全国の空き家は3戸に1戸

【問】国による空家等対策に関する特別措置法が施行されてから、約5年が経過しています。2013年では13.5%であった空き家率は、2033年には30%を突破するとも言われています。そこで、特別措置法を踏まえ、台帳作成を含め空家対策計画の作成について伺います。

【答】人口減少、建物等の老朽化に伴い、今後も空き家の増加が予想されることから、除却や改修、活用を推進するため、「空家等対策計画」の作成を今後検討していきます。

佐藤理美議員



その他の質問「学校・保護者間のデジタル化の取り組み」「男女共同参画の推進」

### 政策提案

## 3歳児健診に視覚検査装置の導入



お昼寝前、紙芝居の読み聞かせに全集中！

【問】町で行っているランドルト環（\*）での眼科検査の検査数と、異常が発見された幼児の人数は。皆野町では視覚検査装置での検査で10人に1人の異常が発見されたと聞いています。眼科医も「視力発達の可能性がある3歳児での発見は、回復の可能性が高まる」と言っています。当町でも導入すべきと考えますが、町の考えを伺います。

【答】令和元年度の検査212人中、精密検査対象者は1名でした。視覚検査装置の導入へ向けて検討します。

田母神節子議員



その他の質問「未来に向かう中心市街地活性化事業」「荒川南岸と周辺の利活用」

### 政策提案

## 十分な町民理解を得た公共施設管理計画



町内の各施設。その役目を終えつつある

【問】公共施設等総合管理計画アクションプランは、地域「コミュニティ」の維持を考慮しつつ、将来世代に負担を先送りすることなく、人口減少、少子高齢化等の将来を見据えた厳しい計画ですが、町民皆さんのご理解を得ることが大切であると思います。町の考えを伺います。

【答】人口減少、少子高齢化傾向は続きますが、必要最小限の施設の維持を検討し、利便性を考慮しつつ、安定した財政運営と適切な公共サービスの提供を両立させた持続可能なまちづくりを目指します。

原口孝議員



その他の質問「駅南口整備事業」

## 議員が聞いた！今とこれから 一般質問

12月定例会では16名中9名が登壇しました



町のさまざまな課題等について、議員が自身の提案も含めて、町に考えを聞くのが「一般質問」。ここでは、各議員1項目についてダイジェスト版でお知らせします。

### スマホで議会を見よう！

傍聴しなければわからない議員の姿を映像で。リアルな雰囲気、伝わります。

寄居町議会 議会中継



見たい会議や議員名を選んで視聴できます。  
注）公開までには、一定の期間を要します。

いつでもどこでも見られるね。



### 政策提案

## 空き家「解体費用助成制度」の創設を！！



安くない解体費用（△0△）

【問】増加している空き家を解体し、更地にすれば、防災・減災・防犯につながるほか、土地の貸借や売上の増など地域経済活性化の一になると思いますが、費用が思いのほかかかっています。「住宅解体資金補助制度」なるものの導入は、除却補助・税の減免等検討

【答】空き家等の除却補助制度や固定資産税の住宅特例解除後の対応等、制度の導入に向け幅広く研究し、空き家等の除去で、防災・防犯、地域活性化のために役場組織を挙げ「抜本的対策」を講じます。

吉澤康広議員



その他の質問「鉢形城公園内を通る町道117号線」「小中学校の給食費」

### 政策提案

## 寄居町の潜在能力。まちづくりに発揮を



地産地消費路拡大に貢献する直売所

【問】豊かな自然を形成する農地と山林は、町の面積の半分以上を占める固有の資源で寄居の潜在能力であり、コロナ感染予防と経済活動のバランスが取れた自治体像をアピールできるものです。そのためにも地産地消を拡大し、地の利を生かした農業政策をもっと押し出すべきです。町の考えは、メリットが多く、拡大を図る

【答】平成30年度から農業次世代人材投資資金の交付を受けた新規就農者は4名、全員、今も農業に従事しています。地産地消はメリットが多く、より拡大していく考えです。

大北久勝議員



その他の質問「寄居町の秩序ある開発（土地の埋立て、盛土及び切土）条例制定の進捗」「町道4845号線わき水路氾濫防止のための整備の進捗」